

## 救急隊員が身につける主な装備

救急隊員が安全かつ効果的に救急活動を行うための装備を紹介します。



### ヘルメット

頭部を保護するため、危険な現場で活動する場合等に着用します。

### 通信機器

現場の状況や活動内容を消防全体で共有し、連携することにより、円滑な活動を実施します。

### 救急資器材

通報内容から傷病者の状態に応じた資器材を携行します。(包帯、創傷処置用品、酸素マスク、自動体外式除細動器(AED)等)

### ゴーグル・手袋・防護服

応急処置を実施する際、血液等の体液の直接的な接触を防ぎ、感染症を予防します。

### 救急救命士は国家資格です

救急救命士として働くための方法は2通りあり、1つは大学・専門学校などの救急救命士養成施設で学び、国家試験に合格後、消防士になる方法。もう1つは、塩田主任のようにまず、消防士になり、救急隊員として5年以上または2000時間以上の経験を経た後に救急救命士養成施設で研修を受け、国家試験に合格する方法があります。救急救命士になると、傷病者を搬送するだけでなく、点滴処置や医療器具を使用した気道確保など、人命を救う「救急救命処置」を行うことができます。

塩田主任は、美馬市で活躍する救急救命士の一人です。(平成19年入署、平成26年救急救命士資格取得)体を動かすことが好きな塩田主任。なぜ消防士という仕事に興味を持ったのか聞くと、「自分のフィジカルを生かして、人を助けられるという仕事に魅力を感じました」と語ります。



消防本部 救急救助課主任(救急救命士) 塩田 孝輔

医療との連携をより意識する出来事  
複数台の車が絡む交通事故現場に出勤したことがありました。けがをした方が多数おり、現場には医師も臨場していました。医師の高度な医療判断に基づ

き迅速に処置を行うことで、傷病者の救命率を向上させることができるということを実感する出来事でした。  
消防はチームワークが重要です。ひとりではできないことも、周りの仲間がサポートしてくれることもあります。自分が誰かのサポートをすることもできます。主に訓練の場で、お互いの得意・不得意な分野を共有し、補完し合い、高め合えるような関係性を築けるように意識しています。

コミュニケーションを大切に  
消防はチームワークが重要です。ひとりではできないことも、周りの仲間がサポートしてくれることもあります。自分が誰かのサポートをすることもできます。主に訓練の場で、お互いの得意・不得意な分野を共有し、補完し合い、高め合えるような関係性を築けるように意識しています。

# 救急隊が市民の安心・安全を守る!

美馬市消防本部の職員は、市民の命を守るために常に最善を尽くしています。24時間365日体制で待機し、緊急通報に対応しています。この記事では、美馬市消防本部の救急活動の概要と、地域の安全と健康に貢献する重要性について取り上げます。

☎美馬市消防本部(総務課、救急救助課) ☎52-3061



救急車をお願いします!  
5ページ「119番するとどんなことを聞かれる?」もあわせてチェック!

## 1 緊急通報への対応

通報を受けると、救急隊員は迅速に出動します。必要な救急資器材を携帯し、現場に向かいます。



## 2 状況評価と応急処置

現場に到着後、現場の状況を評価し、傷病者の状態を確認します。必要に応じて、心肺蘇生法や止血処置等の応急処置を行います。

## 3 連携と報告

救急隊員は、傷病者の状態によってはドクターヘリやドクターカーと連携する必要があるため、適切な医療が提供されるよう傷病者の状態を医療機関に報告します。

## 4 医療機関への搬送

応急処置を行った後、傷病者を救急車内に収容し、病態に応じた適切な医療機関へ安全かつ迅速に搬送します。



## 5 訓練等の日頃の備え

救急隊員は、定期的に訓練や勉強会に参加し、最新の医療技術や応急処置の知識を身に付けます。また、救急車や救急資器材の点検や整備を定期的に行い、常に救急活動に備えています。



## 119番通報すると どんなことを聞かれる?

119番通報した時の対応について確認しておきましょう。市内で119番通報すると、「美馬地区消防指令センター」へ電話がつながります。

### 119番通報の流れ〈例〉

#### 指令センター

「はい、美馬地区消防指令センターです。火事ですか?救急ですか?」

#### 通報者 「救急です」

#### 指令センター

「救急車を向かわせる場所はどこですか?住所を教えてください」

#### 通報者

「〇〇町〇〇番地です」※場所が不明な場合は、目標物などを伝えてください(「〇〇交差点です」「〇〇公園の近くです」など)

#### 指令センター

「救急車を出勤させましたので到着までの間詳しいことを教えてください」「どうされましたか?」

#### 通報者

「家族が階段から落ちて頭を打ったみたいで顔から血が出ています」

#### 指令センター

「その人は意識はありますか?呼吸はしていますか?会話できますか?」

#### 通報者 「あります、会話もできます」

#### 指令センター

「それでは救急車が到着するまで額の止血をしてもらいたいの、清潔なタオル等で額の血が出ている箇所を押さえてください」

「その人の名前と年齢、性別は?」「持病やかかりつけの病院は?」

#### 通報者

「名前は〇〇です、〇〇歳男(女)性です」「持病は糖尿病・高血圧です、〇〇病院がかかりつけです」

#### 指令センター

「それでは最後にあなたのお名前を教えてください」

#### 通報者 「名前は〇〇です」

#### 指令センター

「それでは救急車が近付いてきたら案内をお願いします」



3/28

### 高規格救急自動車を寄贈いただきました

一般社団法人日本自動車工業会様から高規格救急自動車が寄贈され、受納式を行いました。

寄贈いただいた高規格救急自動車は、4月1日から運用を開始し、地域住民の安心安全の確保のために活用させていただきます。

## いざ!というときの「あんしんカード」

### 「あんしんカード」ってなに?

「あんしんカード」は、氏名や生年月日、かかりつけ医や飲んでいる薬、緊急連絡先等を書きことができるカードです。あらかじめ記入したカードを冷蔵庫などに貼っておけば、緊急時に119番通報し、駆けつけた救急隊員へ情報を伝える場合に、あわてずスムーズに行うことができます。美馬市の消防(救急隊等)や警察にも「あんしんカード」について周知しています。もしもの事態に備え、ぜひ活用してください。



### 「あんしんカード」はどこでもらえるの?

すでに配付をしていますが、お手元がない方は、美馬市社会福祉協議会へお問い合わせください。

☎ 美馬市社会福祉協議会  
地域福祉課 ☎53-7432



## 搬送手段は救急車だけじゃない!ドクターヘリと救急隊の連携について

緊急医療サービスの充実と効率化のために、救急車とドクターヘリは連携して活動し、地域の医療搬送体制を補完しています。



• 119番通報を受けると、救急車を現場に出勤させる一方、早期治療を要すると判断した場合、ドクターヘリの出勤をドクターヘリ運行管理室(県立中央病院)に要請します。

• ドクターヘリがランデブーポイント(救急車と合流する場所)に着陸すると、フライトドクターとフライトナースが救急車に乗り込み、直ちに治療を行い、適切な医療機関へドクターヘリまたは救急車で傷病者を搬送します。

• ドクターヘリと救急隊が連携して活動することにより、救急搬送時間の短縮による救命率の向上や後遺症の軽減につながるなど迅速な医療対応が可能となります。

### ドクターヘリ要請件数 (美馬市消防本部管内)

R1 (H31)	85件
R2	63件
R3	71件
R4	82件
R5	63件



## こんなときには#7119 中学生以下の場合#8000

急なケガや病気をしたとき、救急車を呼んだ方がいいか、今すぐに病院に行った方がいいかなど、判断に迷うことがあります。

そんなとき、専門家からアドバイスを受けることができる電話相談窓口が救急安心センター事業(#7119)です。

救急安心センター事業(#7119)に寄せられた相談は、電話口で医師、看護師、相談員がお話を伺い、病気やケガの症状を把握して、救急車を呼んだ方がいいか、急いで病院を受診した方がいいか、受診できる医療機関はどこかなどを案内します。

### 利用者の声

深夜、息子が急に熱を出したときのことでした。熱がかなり高かったので、病院に行こうかとも思いましたが、引越してきたばかりで深夜に開いている病院もわからなかったため、#8000に電話をしてみました。お話をきいていただき、「緊急性は高くないから、様子を見ながら、朝になったら小児科に行きましょう。」とアドバイスをしてもらい、近くの小児科を紹介してもらいました。深夜のことです不安だったのですが、専門家にアドバイスをしてもらえたので、とても安心しました。



【参考】総務省消防庁ホームページ、救急安心センター事業(#7119)をもっと詳しく!